

1 学校経営の方針

(1) 学校経営の基本的な考え

人が成長したり、成功したりするのに必要なのが教育です。そして教育でもっとも大切なのは、「自分はすばらしい存在」であることを自覚させ、自信を持たせることです。

子どもたちにとって学校は、失敗や間違いを繰り返しながら、いろいろなことを1人でできるようになり社会に出て行く場所です。わからないことやできないことと向き合う場所でもあります。

だからこそ、子どもたちが、興味を持つことに出会ったり、自分の力を発見したり、一緒にいたい友達をつくったりしていく子どもに寄り添う教育が必要になります。

子どものその瞬間は二度とありません。その瞬間に立ち会う覚悟と、立ち会える感謝の気持ちをもち子ども主体の教育をすすめていきます。

(2) 学校経営の方針

学校経営の方針日本国憲法、教育基本法並びに教育関係諸法規、学習指導要領、熊本県児童生徒教育指導の指針、第2期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、県教育庁各課取組の方向、阿蘇教育事務所取組の方向、阿蘇教育事務所管内努力事項、西原村教育目標、西原村教育振興基本計画をふまえながら、児童や地域の実態に即した教育の実現を目指し、学校教育目標、学校経営の目標、学校経営の方針、具体的実践事項を次のように設定する。

①学校教育目標

「生きる力」を身につけた児童の育成

スローガン『笑顔の出会い 笑顔の別れ 笑顔いっぱい山西小』

②校訓 「なかよく かしこく たくましく」

③めざす子どもの姿（こんな子どもに）

「なかよく（優）」～思いやりのある子ども

- ◎進んであいさつをする
- ◎やさしい言葉づかいをする
- ◎友だちと仲良くする

「かしこく（賢）」～自ら考え、学ぶ子ども

- ◎しっかり話をきく
- ◎進んで考える
- ◎豊かに表現する

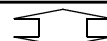
「たくましく（健）」～心と体を鍛える子ども

- ◎進んで働く（そうじ）
- ◎最後までやりとげる
- ◎進んで運動する

④本年度のめざす教育

[一点突破]…授業で突破

- すべての教育活動の核になるものは授業であり、授業中の子どもの姿が真の姿である。
- 授業改善は第一に、子どもを高める「子どものため」にすすめられるものである。その結果として、教職員の資質や指導力が高められていく。わたし主体から子ども主体の教育を創造する。
- それぞれの職務にそれぞれの役割と価値がある。「一点突破 全面展開」のビジョンと具体策を持ち、あるべき姿に向かって、日々の努力を積み上げていきたい。



[全面展開]…チームで展開

- 「(私が) できるか、できないか」を問う前に、「何をするのが」、「どうするのが」子どもの笑顔につながるかという理念に基づいた子ども主体、子どもが生きる教育活動を推進する。
- 「今、何がないかでなく何があるか」といった前向きさを起点に、一人一人の教職員の気づき、考え、行動力が発揮され、課題解決に向けチームで全面展開していく組織を実現する。
- 家庭、地域等と一体となった“チーム山西”による教育を推進する。未来を切り拓いていく生き抜く力を児童に育む。



子どもの夢実現

スローガン『 笑顔の出会い 笑顔の別れ 笑顔いっぱい 山西小 』

(3) 家庭と地域等との連携

基本的な考え… JAKの対応（J：迅速な行動、A：相手への共感、K：継続した取組）

(4) 具体的な子どもの姿…3つの約束として

- ①なかよく 『あいさつをすとなかよくなる』
あかるく、いつも、さきに、つづけてあいさつする姿

なぜ、

ア相手を認めることができるから

イ相手を気にかけ、関心をもつことができるから

そして、

ア進んで考え行動する構えができる。

イ人を幸せにすることができる

そうなるために、「あかるく、いつも、さきに、つづけて」あいさつすること。具体的な取り組みを通してレベルアップさせたい。

- ②かしこく 『しっかり話をきくとかしこくなる』

目、耳、へそそして心で、聞く・聴く・効く姿

(“聴くと人生は80%成功する” デール・カーネギー氏の言)

なぜ、

ア聴き上手は成長が早い…聴き上手は、よく質問する人と置き換えられる。

イ聴き上手は相手の心を癒す…聴いてもらうとうれしくなる (例カウンセラー)

ウ聴くと好かれる…イの結果としてウの状態になる。 *聴くの効能…三徳

聴く : 話す = 80 : 20 が効果的

そうなるために、すべての教育活動での“目・耳・へそそして心”できくこと。聞くから聴くへさらに効くへとつなげる取り組みをしたい。

- ③たくましく 『そうじをするとたくましくなる』

黙って、素早く、たくさん動く姿

なぜ、

ア同じ時間にみんなでやりごまかしがきかない。

イ自分だけでなく人のことを思う気持ちがある。

ウきれいなものを見る心がある。

エやりぬく力や集中力が付く。

そうなるために、だまって、すばやく、たくさんうごくこと。

何も工夫がなければ、掃除をする意味も分からず、「つまらない」、「面倒くさい」の子どもたちにとってただの無駄な時間になってしまう。

この掃除の時間をうまく生かせれば、子どもたちの大きな成長の機会にもできるはず。多くの人が当たり前になしていくことを、意義をもって子どもたちに伝えながら、まずは、掃除の時間が子どもたちにとって有意義な時間になるようにしたい。